

令和7年第3回定例会一般質問通告事項

9 月 4 日	岡村 隆 議員 (公 明 党)	質問方式:一問一答方式
	<p>1 踏切における安全対策について</p> <p>(1) 踏切警報音によるパニック等を防止するため、「段階的な音の設計」に改善要望されたい</p> <p>(2) 踏切における「安全確保」「踏切構造や警報音の在り方」などについて、今後、市として実態調査やヒアリングを行う必要があると思うが如何か。また、ユニバーサルデザインの観点を取り入れた改善策について、市として研究や調査を進め、JRと協議を開始すべきであると考えているが、この点もいかがか</p> <p>2 交通安全教育について</p> <p>(1) かつて高須町にあった「交通公園」はいつごろ、どのような経緯で整備されたのか。また、いつごろまで、どこが主体で、どのように利用されてきたか。どうして利用されなくなったのか</p> <p>(2) 現在、幼児・児童・生徒に対する実践的な交通安全教育はどのように行われているか。また警察、交通安全協会、学校、地域などとの連携はどのようになっているか</p> <p>(3) 各学校での講習にあつて、どのような機材を使用しているか。また整備状況は充分か。新たに整備予定のものがあるか。かつての「交通公園」のような施設を整備する構想はあるか。毎回の講習での搬入、設置、撤収など職員の方に過度の負担がかかっているか。各学校に「交通安全セット」として整備してはどうか</p> <p>(4) そろそろヘルメット購入助成制度導入を決断してはどうか</p> <p>3 町内会とごみ収集の関係性について</p> <p>(1) 市内のごみ箱・ごみステーションのうち、町内会が管理している箇所割合はどの程度あるか。それに対して市としてどのような支援・位置づけをしているか</p> <p>(2) 「町内会に入っていないなくてもごみは出せるのか」との相談が市に寄せられた場合、どのような説明をするように指導しているか。町内会に配慮した説明マニュアルやガイドラインはあるか</p> <p>(3) 町内会に依存しすぎない持続可能なごみ収集体制を構築していくために、どのような方針・検討を行っていくか。「公設型ごみステーション」の整備や「個別収集」などについては検討してはどうか</p>	

<p>9 月 4 日</p>	<p>(4) ごみ箱利用のルールやマナー、町内会の役割と協力の重要性を周知していく広報の取り組みを今後どのように行っていくのか</p> <p>4 学校体育館のエアコン整備等</p> <p>(1) 避難所となっている学校体育館の空調整備は、単に教育施設充実の問題ではなく、避難所整備＝命を守る防災施策として位置づける必要がある。このことについて、市長部局はどのような立場・責任を持っていると認識しているか</p> <p>(2) 公共施設の空調整備や更新を行う中で、学校体育館の優先度については、どのような評価しているか</p> <p>(3) 具体的な整備にあたっては、国が用意しているメニューの活用について、市長部局が中心となって制度調査・財源確保・整備スケジュールを策定する必要があると考えるが、いかがか</p> <p>(4) 政府は「2035年度までに公立小中学校の体育館への空調（エアコン）設置率を95%に引き上げる」という目標を掲げている。このことを受けて本市における「現在の進捗状況と、今後の見通し、計画等」について、活用される国のメニューとセットで具体的に示されたい</p> <p>(5) 学校トイレの洋式化につき「屋内運動場に近接するトイレや屋外トイレの洋式化を進めている」とのことであるが、具体的な内容を伺う</p> <p>4</p> <p>5 視覚に障がいのある方の外出支援について</p> <p>(1) 実際のところ同行援護に従事できているガイドヘルパーの人数は何人くらいか。また、年間の同行援護サービス利用者数の推移について伺う</p> <p>(2) ガイドヘルパーの人材不足という実態認識を持っているか。人材確保に向けた取り組みの現状と課題について伺う</p> <p>(3) 同行援護の制度的な運用が、利用者の多様なニーズに十分対応できていないという声がある。見解と今後の改善に向けた意向を伺う</p> <p>(4) 他自治体との連携や先進事例の調査研究など、同行援護サービスの強化に向けた検討を行う考えはないか。</p> <p>6 移動支援・福祉関連サービスの周知と活用促進について</p> <p>(1) 福祉車両の取扱い、移動支援・用具貸与などを行う事業者の情報について、どのような方法で収集・整理、情報提供がなされているか。周知体制や課題認識について伺う</p>
----------------------------	---

<p>9 月 4 日</p>	<p>(2) 「ねこのて手帳」について現在の配布・活用体制は十分か。どのような改善の余地があると考えているか</p> <p>(3) ①LINE、SNSでの定期的な福祉情報の発信②包括支援センターやケアマネジャーとの連携を通じた情報の橋渡し③医療・介護機関での案内チラシ設置や職員の情報共有体制④公民館・図書館など市民の生活導線上での配架といったような多層的な広報・情報提供の仕組みづくりが求められると考えるが、いかがか</p> <p>(4) 地域の福祉サービス提供者や支援を必要とする方々の声からのヒアリング、アンケート調査の実施などを行う考えはあるか</p>
----------------------------	--